



令和6年(2024年) 7月16日



黄色ブドウ球菌(SA)に注意しましょう



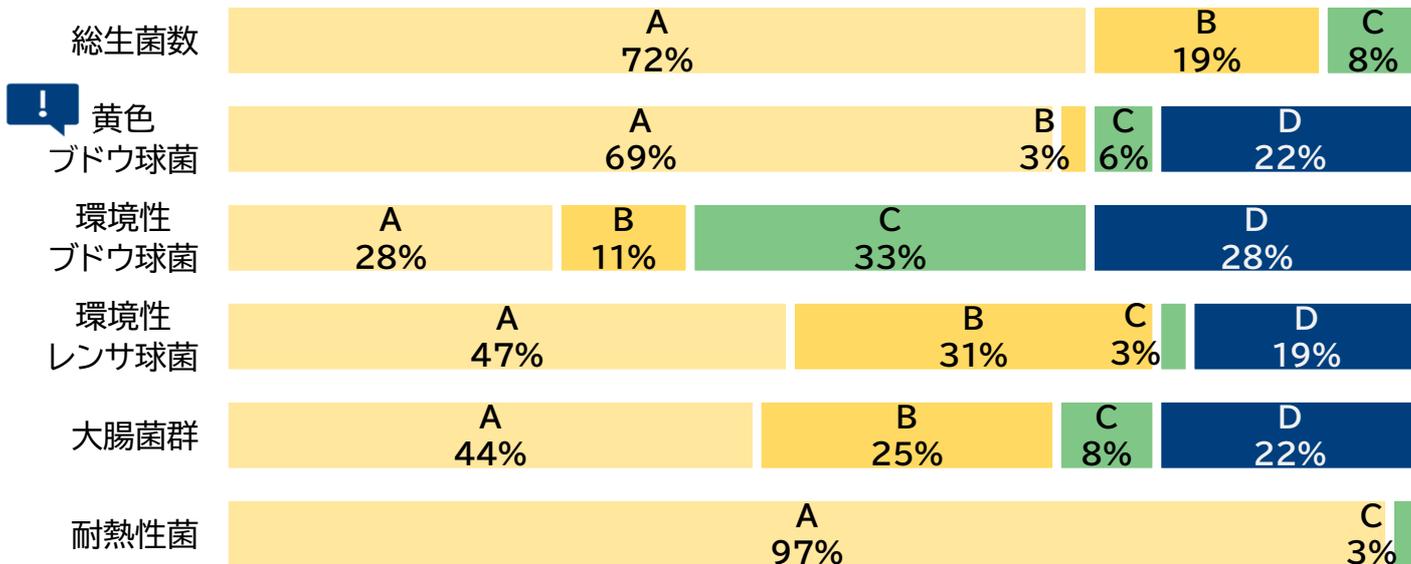
SAは、人や牛の皮膚に常在する細菌です。

搾乳機器や搾乳者の手などを介して**他の牛に伝染**します。

感染していてもブツなどの症状が現れない**潜在性乳房炎**の場合には、搾乳時の観察だけでは感染牛を見逃してしまうことがあります。

個体乳検査による**感染牛の特定**や、搾乳衛生は家保までご相談ください。

令和6年度 前期バルク乳検査結果



判定基準 A:正常/目標 B:やや多い C:多い D:非常に多い

SAは41%の農場で検出されました。

後期のバルク乳検査は10~12月を予定しています。ご協力をお願いします。

定期報告等の手続きが電子化されます

令和6年度から一斉点検、定期報告等の手続きを電子化することができるようになります。電子化する場合は、eMAFF IDの取得が必要です。詳しくは別紙をご覧ください。

